

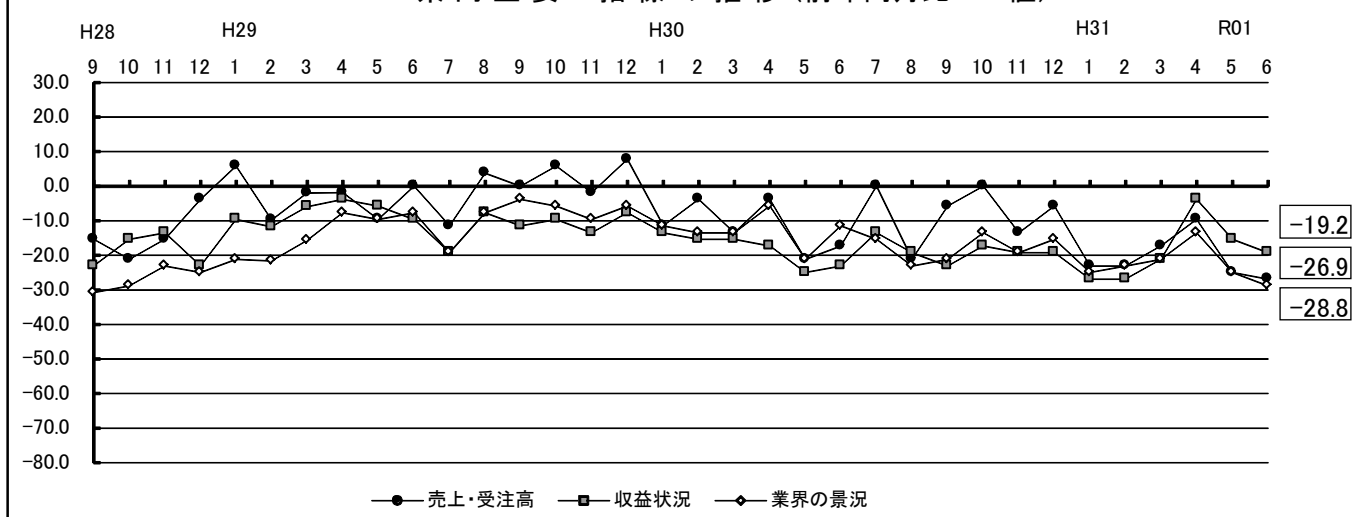
# 中小企業団体情報連絡員報告結果(令和元年6月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員5名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 6月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中「在庫数量」「取引条件」の2指標が上昇し、「売上高」「販売価格」「収益状況」「資金繰り」「雇用人員」「業界の景況」の6指標が下降した。
- 主要3指標では、「売上高」「収益状況」「業界の景況」いずれも前月より下降し、それぞれ-26.9ポイント、-19.2ポイント、-28.8ポイントであった。
- 6月も売上高減少・収益状況悪化による景況感の悪化が継続しており、先行きを見通せない状況が続いている。非製造業においては材料原価や燃料費等の上昇により物流が停滞したほか、消費者の節約志向が強く、消費税増税前の駆け込み需要は見受けられないという声が聞かれた。また、慢性化する人手不足や企業間格差の拡大等の不安もあり、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-26.9	-1.9	-23.1	-2.5
収益状況	-19.2	-3.8	-25.0	-2.1
業界の景況	-28.8	-3.8	-28.3	-2.2

## 売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月より1.9ポイント下降し、-26.9ポイントとなった。全国においては、前月より2.5ポイント下降し-23.1ポイントとなった。

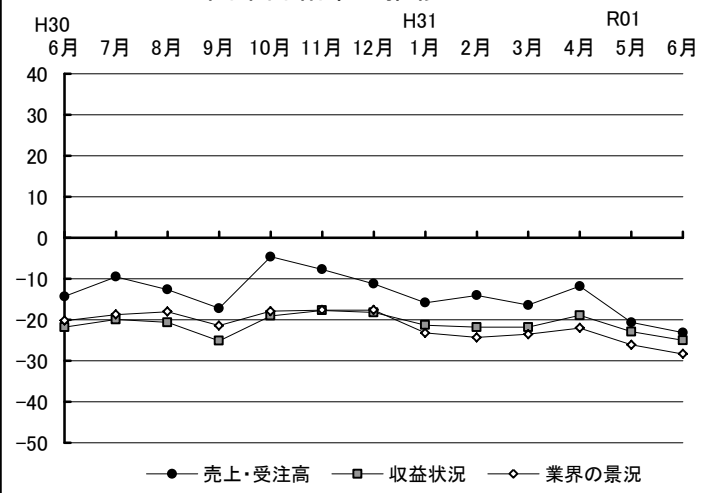
## 収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より3.8ポイント下降し、-19.2ポイントとなった。全国においては、前月より2.1ポイント下降し-25.0ポイントとなった。

## 業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より3.8ポイント下降し、-28.8ポイントとなった。全国においては、前月より2.2ポイント下降し-28.3ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概況-

6月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中「在庫数量」「取引条件」の2指標が上昇し、「売上高」「販売価格」「収益状況」「資金繰り」「雇用人員」「業界の景況」の6指標が下降した。

主要3指標では、「売上高」「収益状況」「業界の景況」いずれも前月より下降し、それぞれ-26.9ポイント、-19.2ポイント、-28.8ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中2業種が上昇、3業種が下降し、非製造業で6業種中3業種が上昇、2業種が下降した。「収益状況」は製造業で7業種中2業種が上昇、2業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇、1業種が下降した。「業界の景況」は製造業で7業種中2業種が下降し、非製造業で6業種中3業種が上昇、2業種が下降した。

6月も売上高減少・収益状況悪化による景況感の悪化が継続しており、先行きを見通せない状況が続いている。非製造業においては材料原価や燃料費等の上昇により物流が停滞したほか、消費者の節約志向が強く、消費税増税前の駆け込み需要は見受けられないという声が聞かれた。また、慢性化する人手不足や企業間格差の拡大等の不安もあり、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	×	△	△	×	△	△	△	×
繊維・同製品	△	△	△	△	△	△	△	△	×
木材・木製品	○	△	△	△	△	△	△	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	△	△	△	△	△	△	△	×
一般機器	×	△	△	△	×	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	△	△	△	×	×	—	△	×
サービス業	×	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	×
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	○

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-100.0	-50.0	25.0	-25.0	-75.0	-25.0	-25.0	0.0	-75.0
繊維・同製品	25.0	-25.0	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	-50.0
木材・木製品	50.0	-25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	0.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-50.0
一般機器	-50.0	-25.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
製造業	-16.0	-20.0	0.0	0.0	-16.0	-8.0	-4.0	-4.0	-36.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-71.4	-28.6	0.0	-14.3	-57.1	-42.9		0.0	-57.1
サービス業	-66.7		0.0	0.0	-16.7	16.7		-16.7	-16.7
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	-25.0		0.0	0.0	-25.0	0.0		0.0	-50.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	50.0
非製造業	-37.0	-20.0	0.0	-3.7	-22.2	-7.4		-3.7	-22.2
全体	-26.9	-20.0	0.0	-1.9	-19.2	-7.7		-3.8	-28.8

図表3～【指標別DI値の推移】

	30年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月	4月	元年 5月	6月	前月 比
売上高	-17.3	0.0	-21.2	-5.8	0.0	-13.5	-5.8	-23.1	-23.1	-17.3	-9.6	-25.0	-26.9	-1.9
在庫数量	-11.4	-2.9	-11.4	-2.9	-17.1	-5.7	-17.1	-8.6	-17.1	-17.1	-17.1	-28.6	-20.0	8.6
販売価格	11.5	11.5	7.7	3.8	3.8	9.6	7.7	0.0	1.9	-1.9	1.9	3.8	0.0	-3.8
取引条件	-3.8	-3.8	-3.8	-3.8	-5.8	-11.5	-9.6	-15.4	-11.5	-13.5	-7.7	-3.8	-1.9	1.9
収益状況	-23.1	-13.5	-19.2	-23.1	-17.3	-19.2	-19.2	-26.9	-26.9	-21.2	-3.8	-15.4	-19.2	-3.8
資金繰り	-9.6	-5.8	-11.5	-11.5	-9.6	-9.6	-15.4	-15.4	-9.6	-11.5	-3.8	-5.8	-7.7	-1.9
設備操業度	-12.0	-4.0	-12.0	-12.0	0.0	4.0	4.0	-16.0	-8.0	-8.0	0.0	-4.0	-4.0	0.0
雇用人員	-1.9	-5.8	-7.7	1.9	-3.8	-1.9	-5.8	0.0	0.0	-3.8	3.8	0.0	-3.8	-3.8
業界の景況	-11.5	-15.4	-23.1	-21.2	-13.5	-19.2	-15.4	-25.0	-23.1	-21.2	-13.5	-25.0	-28.8	-3.8

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0
繊維・同製品	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0
木材・木製品	25.0	0.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0
一般機器	-25.0	25.0	0.0	0.0	-50.0	0.0	-25.0	-50.0	-50.0
製造業	-4.0	8.0	-8.0	0.0	-8.0	-4.0	0.0	-8.0	-12.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-28.5	14.3	0.0	0.0	-28.5	-28.6		0.0	-14.2
サービス業	-16.7		0.0	16.7	33.3	33.4		0.0	16.6
建設業	20.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	20.0
運輸業	25.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-25.0
その他	50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	50.0
非製造業	0.0	10.0	0.0	3.7	0.0	0.0		0.0	3.7
全体	-1.9	8.6	-3.8	1.9	-3.8	-1.9	0.0	-3.8	-3.8

# 特記事項

情報連絡員報告（令和元年6月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	昨年はDCキャンペーンなどの影響で好調であったが、今年はイベントの減少により売上の厳しい状況である。
酒類製造業	今年に入ってから売上高の減少が続いていたが、6月は特に悪く、前年比で90%前後の組合員が多くみられた。
縫製業	同業者が減少した影響で少し上向いてはいるものの、年間の安定受注は見込めない状況である。また、忙しい時期が長く続かないため、6月中旬より受注が減少している。
染色整理業	一部企業で増加があるも、一部企業で悪化がある。企業間の格差が発生している。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	今年の6月は近年でも珍しく受注増であった。7月以降の動きもある程度は期待できる。海外販売向けの企画が好調である。来春夏シーズンに向けて各社ともサンプル等の新提案に注力している。
建具製造業	先が見通せない組合員が増加している。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりは無い。
石灰製造業	鉄鋼関係は昨年並みか若干減少気味、肥料関係は5月に先取りがあったため減少、建材関係は現場物件の動きが出てきたが生コン等は減少している。トータルでは昨年より若干減少気味であった。
金属製品製造業	売上低下・人件費増加・人手不足により、自動車部品関連・機械設備関連・プレス金型関連いずれも低下した。
一般機械器具製造業	各企業間での格差が大きくなっている。
一般機械器具製造業	売上高がやや減少し、それに伴い収益状況がやや悪化した。しかし、企業間格差があり、業界全体で一様に収益状況悪化というわけではない。今後の動向を注視しながら対応していく必要がある。なお、人手不足は継続中である。
一般機械器具製造業	2週間ほどベトナムに出張してきたが、日本ほどではないものの、景気が落ち着いた感があった。ただ、日本とは違い個人消費は旺盛であった。それに比べ日本は景況感が全てで感じられない。一部活発なところを目にするが、ほんの一部である。やはり、トランプ大統領下のアメリカ経済の影響が至るところに及んでいるようである。そのアメリカ経済の影響を大いに受ける政治体制である日本の政策では、景気が上向かないと思う。
各種商品卸売業	全体として大きな業況変化はないが、組合員企業の人手不足は依然として解消していない。栃木県中央会の支援による「働き方改革・人手不足対応支援事業」を実施し、人手不足解消に取り組んでいく。
食肉小売業	業務店の材料原価見直し・諸費用上昇の影響で、商品の荷動きが悪い。消費者の購買も節約志向が強く、余分な物は買わない状況である。
中古自動車小売業	消費税増税前の駆け込み需要は見受けられず、全体的な動きも悪い。
各種商品小売業	非常に厳しい6月であった。景気の向上に水を差す政治家の発言等により一層の景気後退を感じた。5～6月は特に地方の景気後退を感じ、全業種で悪い期であった。

各種商品小売業	全体として客数・売上ともに前年と同等水準であったが、業種ごとにみると高単価の店舗は好調に推移しているが、サービス等低単価の店舗は苦戦した。既存客・固定客がいるか否かは店舗の力の差であると思う。今後ますます二極化が進むと思われる。
花・植木小売業	6月のジュンブライドは、一昔前は婚礼の花の需要が期待できたが、最近では梅雨時期で蒸し暑い雨の多い月として逆に減少傾向となっている。葬儀に関しても例年6月は少なく、葬儀規模も小さくなってきており、花の業務需要は減ってきている。小売もこの時期は花の持ちが悪いため動きは鈍い。この時期の新たな需要開拓を模索していく必要がある。
理容業	暑い気候になってきたため、ヘアスタイルを短くする顧客の増加とともに来店客が増加し、売上が前月と比較すると伸びている。
自動車整備業	売上高が増加傾向で推移していたが、6月は大きく減少した。消費税増税を見据えた営業展開を検討している。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率は大型連休後から低下している。宴会に関しては例年通りであった。お弁当やケータリングなどが前年対比で大きく減少した。飲食店利用に関しては大型連休明けからの利用控えがそのまま続き、非常に鈍い動きであった。大型連休中も客足が鈍ったが、その後の落ち込みの要因については未だ把握できていない。
ビルメンテナンス業	清掃・ゴミ収集などの仕事がやや減少している一方、人件費を削減することにより収益性は向上している。
給食センター	4月1日から産業弁当の値上げを実施したが、不採算部門の撤退等により昨年度より若干の売上高減少となった。配送の燃料費の高騰や最低賃金引上げなどで厳しい状況ではあるが、食材費の減少や新規の得意先の開拓・新商品の開発により、収益も良くなると思われる。
内装工事業	当組合の防災ラベル支給枚数からみると、カーテン用ラベルは14%減、敷物用ラベルは115%増、壁装用ラベルは7%減であった。
一般貨物自動車運送業	働き方改革が実施され業務効率化を図ってきたが、前年同月と不変という結果となり、働き方改革の浸透には時間が必要と感じている。今後の課題として過剰競争・低運賃・待機時間などの適正化に向けた体質改善が挙げられる。
貨物軽自動車運送業	例年と比べて売上高は減少した。全体的に物流の動きは鈍く、定期の仕事以外の新規・スポット業務などは数えるほどしかなかった。異例の動きとして、6月第3週より個人のお客様の引越し依頼が多くあり、7月初旬までの平日・週末ともに予約で埋まってしまうほどである。
一般乗用旅客自動車運送業	平日の夜間はタクシー利用客が減少傾向となっている。
大谷石採石業	ほぼ同程度で推移した。新国立競技場等のオリンピック施設や栃木県の競技場、JR宇都宮駅東口の施設などでの大谷石使用がPRとなることを期待している。